

発行所
長野県保険医協会
〒380-0928 長野市若里 1-5-26
電話 026-226-0086
FAX 026-226-8698
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp
年間購読料 3,600円
会員の購読料は会費に含まれています



2018年(平成30年)9月25日
No.451 (毎月1回25日発行)
(1990年6月22日第三種郵便物認可)
主な記事
署名活動について…2面、社協代表者会議講演…3面、歯科矯正学会詳細…4面、税務署から届いた書類について…5面、保険かわら版/2017年度決算報告…6面

9月より同時実施
クイズチラシ・負担増反対署名
目標は10,000筆
保険医協会は9月より75歳以上の窓口負担を1割から2割とする負担増計画に反対する「みんなでストップ!患者負担増」署名を開始しました。今回の署名活動では10,000筆を目標に掲げています。締切は12月末となっていますが、12月に一旦国会へそれまでに集まった署名を提出するので、11月末を最初の区切りとさせていただきます。目標達成に向け先生方の協力をお願い申し上げます。
今号では、林副会長より署名活動に関する意見を執筆いただいたので参考にしていただきたい。(2面)



クイズチラシと署名

クイズチラシも開始

署名活動と同時に、待合室キャンペーンとして「クイズで考える私たちの医療」を料金受取人払いで実施した。締め切りは2018年1月15日(当日消印有効)。チラシタイプとポケットティッシュタイプの2種類で、医療・福祉に関する3問のクイズに答え、ハガキ部分を切り取ってそのままポストに投函できる。切手等の貼付は不要。

追加注文は協会まで

クイズチラシ、署名は9月上旬に各会員に発送しております。追加注文やポケットティッシュが必要な方は保険医協会事務局まで。ポケットティッシュは100個入り500円から。

第3回 歯の供養祭

「保険でより良い歯科医療を」長野連絡会では、10月8日の「イレバの日」にちなみ、第3回目となる「歯の供養祭」を善光寺大勧進で開催します。



昨年の供養祭

長年、体の一部として黙々と働いてくれた歯に感謝し、その役目を終えた歯や入れ歯を心をこめて供養致します。また、寄せられた入れ歯についている金属は、精錬・リサイクル福祉団体等に寄付させていただきます。

供養祭にご提供いただける歯や入れ歯などがありましたら、供養祭当日にご持参いただくか、10月4日(木)までに長野県保険医協会(〒380-0928 長野市若里 1-5-26)宛てに着払いにてご送付ください。

日時: 10月8日(月)
午前10:30~11:00(受付午前9:30~10:30)
場所: 善光寺本坊大勧進
(380-8501 長野市元善町492 TEL026-234-0001)

参加費: 無料
主催: 「保険でより良い歯科医療を」長野連絡会

本件に関するお問い合わせは、長野県保険医協会事務局(TEL:026-226-0086、FAX:026-226-8698、担当:原、田村)までお願い申し上げます。

医科 「在宅医療点数の手引」説明会



10月に発刊される「在宅医療点数の手引」を使用して下記の日程で説明会を開催します。在宅医療点数は、対象患者や算定要件が詳細に定められ、複雑な仕組みになっており、請求漏れや請求誤りの多い点数となっています。往診と訪問診療の違い、点滴薬剤の算定方法などを中心に算定上の留意点とともに請求事例を交えて解説します。同封の申込書にて事前申込の上、テキスト持参でご参加を(申込め切10/15)。

会場	期日	場所
松本会場	10月18日(木)	松本市勤労者福祉センター(3F) (松本市中央4-7-26)
上田会場	10月19日(金)	上田市勤労者福祉センター(2F) (上田市中央4-9-1)
飯田会場	10月23日(火)	飯田市地域交流センター(りんご庁舎3F) (飯田市高羽町5-5-1)
長野会場	10月24日(水)	長野市生涯学習センター(トイゴ4F) (長野市大字鶴賀問御所町1271-3)

【時間】19:00~21:00 各会場共通

子どもの歯科矯正への保険適用を考える学習会
保険医協会は9月9日、松本市中央公民館(Mウイング)で「保険適用拡大を願う会(以下、願う会)」代表の小尾直子氏を招いて子どもの学校歯科検診における咬合異常への保険適用に関する学習会を開催した。保険医協会の宮沢会長、奥山、林各副会長、後藤、米田各理事ならびに民医連から1名、県労連から1名、保険医協会事務局3名が参加した。「願

う会」は、学校検診などで歯科矯正の必要を指摘されながら保険適用外のため負担が大きく、家庭の経済的な事情により治療を受けられない子どもが多くいるとし、保険適用拡大を求めて山梨県内の市町村議会を中心に請願や署名活動を行っている。

初めに保険医協会会長で「保険でより良い歯科医療を」長野連絡会の宮沢代表から学校保健の意義・目的などについて触れられたほか、子どものうちに歯科矯正を行うことのメリット・デメリットや、歯科矯正をめぐる現状について問題提起がなされ、続いて小尾氏から「願う会」がこれまでにやってきた活動について報告、出席者と意見交換を行った。

本紙4面にて詳報

こっちだつて敬老してもらいたいわ!という思いをひた隠し、施設にいる両親の「敬老の日」を無難に過ごしたその日、百歳超人口の女男比にあらためて驚いた。命を宿し、育むという構造が、どれだけ凄いエネルギーを有しているのだろう。到底人智の及ぶことのない領域のように思われた。20年間胃潰瘍、心臓病、白内障、腸管疾患と休む間もなく救急医療のお世話になつてきた父は、当時「早くお迎えが来てほしい!」が口癖だったが、今は極めて平穏な毎日を過ごしている。一方生涯寝込むことになつた母は、骨粗しょう症の投薬治療の薬石効なく、たつた一度の骨折で寝たきりに近い状態となり、今日も世間を恨んで生きていく。その施設で、父は「ちゃん」付けで、母は「様」と呼ばれているよと、職員さんが打ち明けてくれた。2人とも口の中には、放置されたむし歯があり、かぶせ物が取れたままのところもある。治療できないといわれている。食べるときは食べるので、それでいいのだろう。病気を治す医療は、この施設には必要ないようだ。ただただ平穏な日々が、やさしく流れてゆく。◆マスコミには「元氣なお年寄り」の文字が躍っているが、現実はこのなんものだろうと思う。私の願いは、ただ一つ。自分の親だからどっこの遺伝子も受け継いでいることだろう。なにとぞどうか、いとこ取りさせてくださいと、神仏に祈っている。(Z・T)

鶏声

もらいたいわ!という思いをひた隠し、施設にいる両親の「敬老の日」を無難に過ごしたその日、百歳超人口の女男比にあらためて驚いた。命を宿し、育むという構造が、どれだけ凄いエネルギーを有しているのだろう。到底人智の及ぶことのない領域のように思われた。20年間胃潰瘍、心臓病、白内障、腸管疾患と休む間もなく救急医療のお世話になつてきた父は、当時「早くお迎えが来てほしい!」が口癖だったが、今は極めて平穏な毎日を過ごしている。一方生涯寝込むことになつた母は、骨粗しょう症の投薬治療の薬石効なく、たつた一度の骨折で寝たきりに近い状態となり、今日も世間を恨んで生きていく。その施設で、父は「ちゃん」付けで、母は「様」と呼ばれているよと、職員さんが打ち明けてくれた。2人とも口の中には、放置されたむし歯があり、かぶせ物が取れたままのところもある。治療できないといわれている。食べるときは食べるので、それでいいのだろう。病気を治す医療は、この施設には必要ないようだ。ただただ平穏な日々が、やさしく流れてゆく。◆マスコミには「元氣なお年寄り」の文字が躍っているが、現実はこのなんものだろうと思う。私の願いは、ただ一つ。自分の親だからどっこの遺伝子も受け継いでいることだろう。なにとぞどうか、いとこ取りさせてくださいと、神仏に祈っている。(Z・T)